



【シルベストレ・バルガス さん】 清流 / 32歳

●千歳ラテンクラブ会長 フルーツ奏者

ボリビア多民族国の出身。現在、ゴスペル楽団、千歳ボランティア通訳クラブ、千歳姉妹都市交流会、北海道スペイン協会に所属して活動している。

ボリビアのラテン  
文化を知ってほしい

**ラ**テン音楽のリズムにのって踊るサルサダンスが得意なシルベストレ・バルガスさんは、ボリビア多民族国の出身です。千歳に来て7年になります。仕事の傍らにフルート演奏やダンス講師、英語・スペイン語のボランティア通訳などを行っています。

9歳のとき、教会で聴いたフルートのきれいな音色が忘れられなくて始めたのが、音楽の道に入ったきっかけだったそうです。ボリビアでは、学校を卒業した後も音楽アカデミーで教師をしながらサルサダンスや英語などを学んでいました。

「音楽アカデミーでは、校長先生が日本の方でしたので、毎日、日本の言葉、料理、音楽、そして日本の文化を教えてもらっているうちに、すっかり日本のファンになりました。千歳に来て、一番おどろいたのは、冬の厳しい寒さです。でも、生まれて初めて見る雪にとっても感激しました。ボリビアは、南アメリカ大陸の赤道近くに位置する熱帯気候ですので、寒さに慣れるまで時間はかかりましたが、今ではこの寒さが最高です」と明るく話してくれました。

これまでに、市内小中学校や高校、大学のほか、道内各地で音楽演奏会、ダンス講習会、講演会などを開催して、ラテンの文化を紹介しています。

「小学校で講演したときに、参加していた小学生からサインを求められたときは、うれしかった」と話します。

今年4月に、ラテンの文化や料理、音楽などが楽しめる「千歳ラテンクラブ」の会長に就任しました。

「皆さんには、今まで以上にラテンの異文化を知ってもらえるよう活動していきます。そして、私の母国、ボリビアをもっともつとアピールしたいです。※「Gracias」と気さくに話してくれました。

※「Gracias」とは、スペイン語で「ありがとう」という意味です。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



シルベストレ

Silvestre  
Vargas

バルガス

さん